

屋内型 4K リモートカメラ“CR-N100”を発売
映像制作からオンライン会議や講義配信まで用途を拡大

キヤノンは、リモートカメラシステムの新製品として、屋内型の 4K リモートカメラ“CR-N100”を 2023 年 11 月 15 日に発売します。



CR-N100 (ホワイト)



オンライン会議で出席者を撮影するカメラとして
使用可能



講義配信／教育資料映像の制作にも好適
(イメージ)

新製品は、会議室や教室でも設置しやすい小型ボディ^{※1}の PTZ (パン・チルト・ズーム対応) リモートカメラです。会議や講義、イベント、セミナーなどのオンライン化が定着する中、ライブ配信や映像収録への需要が高まっています。リモートカメラのラインアップに本製品を加えることでユーザーの裾野拡大を図り、プロの映像制作から、企業や自治体、教育機関などにおける映像コンテンツを活用したコミュニケーションまで、幅広く支援します。

1. 4K/30P の高画質と豊かな映像表現

1/2.3 型 CMOS センサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV6」など、業務用ビデオカメラで培った技術を生かしたキーデバイスを搭載し、4K/30P の高画質な映像撮影を実現します。また、焦点距離 29.3mm-601mm^{※2} 相当の光学 20 倍ズームレンズを搭載し、広角から望遠まで幅広いシーンの撮影に対応します。「ポートレート」、「スポーツ」、「ローライト」、「スポットライト」の 4 種類のシーンモードを搭載し、被写体に応じたシーンモードを選択するだけで最適な映像表現が可能です。

2. 豊富な通信プロトコルに対応

キヤノンの映像制作機器を制御する独自の IP^{※3}「XC プロトコル」や、ストリーミング配信が可能な「RTMP^{※4}」、ライブ映像制作を支援する「NDI[®]|HX^{※5}」、高品質・低遅延・安全な映像伝送を特長に、近年広く採用されている「SRT プロトコル^{※6}」に標準対応し、制作環境に合わせた柔軟なシステム構築が可能です。

3. 優れた接続性と互換性

映像出力インターフェースは、IP、HDMI に加え、USB 通信の標準規格「UVC (USB Video Class)」に対応し、PC と本体を USB ケーブルで接続するだけでウェブ会議用のカメラとして使用することができます。最大 200 台のカメラを一括で設定・管理することが可能な「マルチカメラマネジメントアプリ^{※7}」(無償)にも対応し、企業や自治体、教育機関などで大規模なシステムで使用する場合も、効率的な運用を実現します。

※1. 本体サイズは約 154mm (幅) × 約 164mm (奥行き) × 約 178mm (高さ)。

※2. 35mm フィルム換算。

※3. 「Internet Protocol」の略。インターネット上で情報のやり取りをする際の通信方式。

※4. 米国 Adobe 社が開発した、動画や音声のストリーミング配信・再生を行う通信プロトコル。「Real-Time Messaging Protocol」の略。

※5. 米国 NewTek, Inc.が開発した映像伝送プロトコル。NDI は、NewTek, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※6. Haivision 社によって開発、オープンソース化され、SRT Alliance を通じてサポートされている映像伝送プロトコル。「Secure Reliable Transport」の略。

※7. 2023 年 11 月下旬に提供開始予定。

* 赤字部分は 2023 年 11 月 9 日修正。

製品名	希望小売価格	発売日
CR-N100 (ブラック/ホワイト)	オープン価格	2023年11月15日

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-07-0032
 - リモートカメラシステムホームページ : canon.jp/remotecam

〈CR-N100 の主な特長〉

1. 4K/30P の高画質と豊かな映像表現

- 1/2.3 型 CMOS センサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV6」など、業務用ビデオカメラで培った技術を生かしたキーデバイスを搭載し、4K/30P 高画質な映像撮影を実現。
- 焦点距離 29.3mm-601mm 相当の光学ズームレンズを搭載し、広角から望遠まで幅広いシーンの撮影に対応。
- 顔検出 AF やタッチ AF による簡易な撮影が可能。
- 「ポートレート」、「スポーツ」、「ローライト」、「スポットライト」の 4 つのシーンモードを搭載。被写体に応じたシーンモードを選択するだけで最適な映像表現が可能。



高画質を実現するキーデバイス



光学 20 倍ズームのイメージ

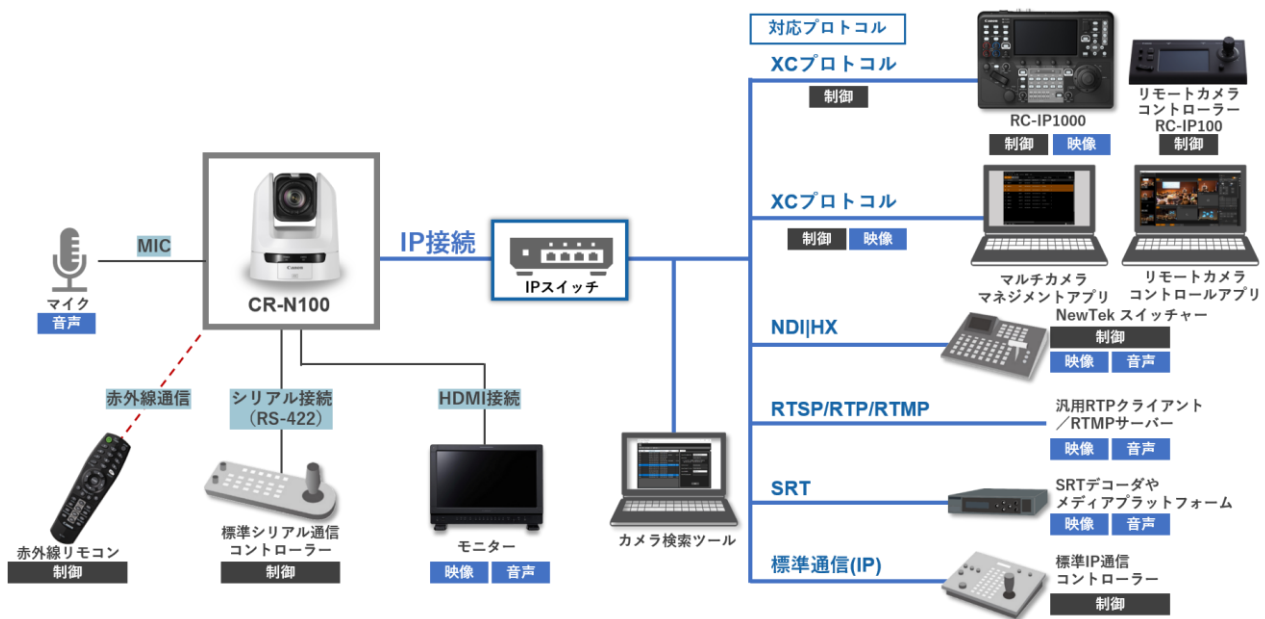


シーンモード

2. 豊富な通信プロトコルに対応

- キヤノン独自の IP「XC プロトコル」に対応。キヤノン製業務用ビデオカメラやデジタルシネマカメラ※1、リモートカメラなど複数のカメラとともに対応コントローラーや PC ソフトウェアで制御することが可能。
- ストリーミング配信が可能な「RTMP」に対応。映像・音声ファイルのダウンロードの完了を待たずに、配信と同時に再生可能。
- 映像制作や放送の現場で普及しているライブ映像制作を支援する「NDI®|HX」に対応。
- 高品質・低遅延・安全な映像伝送を特長に、近年広く採用されている「SRT プロトコル」に対応。

※1. 対象機種は、「XF605」（2021年10月発売）、「EOS C500 Mark II」（2019年12月発売）、「EOS C300 Mark III」（2020年6月発売）、「EOS C70」（2020年11月発売）です。各機種の XC プロトコルで接続方法詳細は、ホームページでご確認ください。



システム構成例

3. 優れた接続性と互換性

- 映像反転機能を搭載し、机上への設置（正位設置）だけでなく天吊り設置も可能。
- 映像出力インターフェースは、IP、HDMIに加え、USB通信の標準規格「UVC（USB Video Class）」に対応。
- PoE+給電に対応。LANケーブル1本で給電、制御、配信が可能。
- ウェブアプリケーション「Webcam Driver」をインストールしたPCとのIP接続のほか、PCと本体をUSBケーブルで接続するだけでウェブ会議用のカメラとして使用することも可能。
- リモートカメラコントロールアプリ（無償）およびリモートカメラコントローラー「RC-IP1000」（2023年12月中旬発売予定）、「RC-IP100」（2021年5月発売）に対応^{※1}。
- 最大200台のカメラを一括で設定・管理することが可能な「マルチカメラマネジメントアプリ」に対応。
- 「アドオンアプリケーションズシステム」の「自動追尾アプリケーション RA-AT001」（2023年4月発売）に対応し、自動追尾機能が拡張可能。

※1. 「RC-IP100」は、ファームウェア ver.1.30 以降でご利用可能です。



背面端子の構成

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキャノンホームページをご参照ください。

<https://canon.jp/business/solution/pro-img-sys/remotecam/lineup/crn100>

〈ご参考〉

1. 「IBC2023」への出展

2023年9月15日（金）から18日（月）まで、オランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC2023」のキヤノンブースにおいて、本製品を展示する予定です。

2. リモートカメラの市場動向

タブレットやスマートフォンなどのデバイスの普及により、多くの人があつても手軽に映像を視聴できる環境を手に入れています。これに伴い、近年、映像コンテンツの需要が急速に拡大し、録画映像・ライブ映像を問わず、多くの映像コンテンツが制作・配信されています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響でリモートによる映像制作・配信が加速しており、例えば教育分野における授業映像の配信、ビジネス分野におけるセミナー映像の配信などがさまざまな現場で普及しています。また、放送分野では、放送局・プロダクションがリモートカメラを用いた番組制作環境を構築しつつあります。このように、映像制作現場ではリモートによる低コスト化・省人化を実現する製品やソリューションに対するニーズが高まっています。
(キヤノン調べ)